2021～2022 会　報 RI第2720地区

The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算３１２１回
２０２２年４月２２日
第３２回例会

奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために

2021～2022年度 RI会長
シェカール・メータ

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎㉒2171　例会場　事務局　清流山水花 あゆの里内 ☎㉔6665 ㉔6505

人吉ロータリークラブ ホームページ　フェイスブックページ　[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2021～2022年度 人吉ロータリークラブテーマ
話しかけよう、奉仕しよう、クラブに、地域に

本日の進行

点鐘	来訪者挨拶
国歌斉唱、Rｿﾝｸﾞ斉唱	会務報告、ゴルフ表彰
来訪者紹介	Ｒの友紹介
会長の時間	母子の健康月間卓話
幹事報告	寄付カード
出席率報告	点鐘

点　鐘　石蔵 尚之 会長

歌　唱　ｿﾝｸﾞﾘｰﾀﾞｰ 川越公弘委員

国 歌　「君が代」
Ｒ Ｓ　「我らの生業」

司会・進行　ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ　加登住亮委員長

来訪者紹介　石蔵 尚之　会長

芦北ロータリークラブ
会長　和田 貴嗣 様
芦北ＲＣ創立50周年実行委員長
白坂 長一 様

会長の時間

会長　石蔵尚之

みなさん、こんにちは。先週は職場訪問例会として人吉市役所の新庁舎を訪問し、我がクラブの６０周年記念事業のひとつ、時計塔の完成を祝い、松岡市長をお迎えして贈呈式を行いました。当日は強風でしたが、幸いにも天候に恵まれました。新たな時代を刻む時計塔。しかも、市役所正面玄関の入り口に近い場所に位置し、これは裏庭では納得いかないという葉山パスト会長の粘り腰のおかげですが、ともかく市庁舎を利用される多くの市民の方々に役立つものと、感慨深く５年前を思い起こしておりました。

さて、人吉新聞でもその模様を２０日の水曜に掲載しました。ここで、ご報告しなければならない問題が発生いたしまして、すでにニヤリと笑っておられる方もおられますが、記事の中で創立６０周年記念実行委員長を務められた中川パスト会長のお名前を、貴夫（たつお）でなく、貴大（たかひろ）と掲載してしまうという、大チョンボをしてしまいました。中川パスト会長、人吉ＲＣに対して本当に申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。ただ、貴大といえば、俳優の三浦貴大を思いだします。父親は三浦友和、母親は山口百恵ということから、中川パスト会長はお許しいただけたのかなと思っているところです。

冗談はさておき、こうしたミスはつきものです。新聞記者が最初に経験するのは、警察、消防です。なぜなら、伝えるべき最低限のことを伝える基本を学ぶからです。氏名、年齢、性別、日時、場所といった具合。現実に起こった事象を正確に伝える、知ることが原点ですが、名前が違っていてはこれはもう「他人」です。中川貴大さんは、現実には存在しないわけですからフィクションです。

とにかく、新聞社に入って厳しく教えられましたのは、名前、年齢を絶対に間違ってはならないということでした。書き間違えやワープロの打ち間違え

などでミスすると、上司のカミナリが落ちることは当たり前。顔を赤らめて怒鳴られる覚悟でいたことを思い出します。今回も担当記者が平謝りしてきましたが、最近は総じて、ミスに対して寛容というか軽いというか、そんな感じがします。大きなミスはチャレンジするから起こるものであり普段の小さなミスこそ注意せよと言われてきましたが、そんな小さなミスを叱る、叱ってくれる上司が少なくなってきている気がします。

パワハラ、モラハラ、そんな問題もありますが、要はホウレンソウ。会話をしているか、付き合いの深さ、信頼の度合いもあるかと思います。その点、ロータリーは多くの学びをスマートに教えてくれます。相手を尊重し、思いやり、信じる心。それに応えたいと思う気持ちの芽生え。まだまだ学ぶことの多さを感じたところです。

ちなみに、新聞でやらかしたことは数多くあります。例えば、広告、これは編集とは別部門ですが、球磨焼酎の広告を出していただいた紙面の上に「断酒の会」つまり健康のために飲酒をやめましょうという会合があったことを伝える記事が載りました。当然、広告を出していただいているスポンサーにとってはクエスチョンマーク。その後の対応はご推察におまかせしますが、こうした紙面の割り付けにも気を配っています。相手の立場に立って考えることができるか否かです。

我がロータリーにはベテラン会員の方がいらっしゃいます。これからも学ばせていただきます。

幹事報告

幹事　竹長一幸

≪4/20 持ち回り理事会承認事項≫

1号議案 人吉商工会議所女性会（主催）
ウクライナ支援活動 映画上映会の後援を承認
開催日時；2022年５月21日（土）
映画「ひまわり」上映(2回)
場所；人吉市カルチャーパレス
後援内容はポスター・チラシ名義使用

≪連絡事項≫

・2022年 規定審議会報告書（回覧）
・2720地区ローターアクト　留学生交流会のご案内（回覧）
・「災害救援基金（ウクライナ支援）へのご支援のお願い」三木明TRF発信（回覧）
・財団室NEWS 2022年号外、財団室NEWS4月号、ポーランドでの避難民受け入れの様子（回覧）
・よねやまだより265号（回覧）

・例会取止めのお知らせ
熊本城東ＲＣ　5/5
熊本南ＲＣ　5/2

出席率報告

委員　上村祐一

現会員数	52名	出席免除会員数	3名
出席義務会員数	49名	本日の出席率	
欠席者数	18名	64.0%	
出席者数	31名		
免除会員出席数	1名	ZOOM(5名)　会場(27)名	

＊届け出欠席　青木・後藤・春木・平山・堀川・岩井・岩下・松下・延岡・尾上・新堀・戸高・富永・友永・外山・堤・漆野・内藤
＊出席免除会員　愛甲・武末・有村

来訪者挨拶

芦北ＲＣ
和田 貴嗣 会長
創立50周年
白坂 長一実行委員長

○11/6開催第6グループＩＭ講演会･懇談会参加お礼
○芦北ＲＣ創立50周年行事中止のご報告

会務報告

【ゴルフ愛好会】　運営委員長　水野虎彦

４月第10戦ゴルフ「天草遠征」
4/17 ザ・マスターズ天草コース（14名参加）
優勝　北　昌二郎会員

ワンオンチャリティー寄付 5,800円

ロータリーの友紹介

４月号見所紹介

増田隆二会員

ロータリーの友4月号の紹介です。

横組みから、４月は母子の健康月間です、そこで「育児と生理の大変さを知る」として特集が組まれています。「男性の育児休業」と「生理の貧困」。日本の母子の健康を推進するための大きな鍵だそうで、母子の健康を推進すべく、何ができるのか考えてみましょう。

８ページ。「男性の育児」今、日本の母子の健康に求められているのが男性の育児への参入。母子の健康を推進するにあたって、男性の育児参加を促す

取り組みが紹介されています。
　10ページ。昨年６月に育児介護休業法が改正されました。改正のポイント１，２，３の３段階にわかれて今年４月から順次施行され、その要旨が載っています。特に育休に焦点をあてて「産後パパ育休（出生時育休制度）」の新設や雇用環境整備、個別周知、意向確認の措置の義務化などの改正が行われています。私が所属する人吉市医師会でもこれに準じた就業規則の変更案が提示されました。皆さんの事業所ではいかがでしょうか？
　12ページ。生理の貧困として、経済的に豊かなはずの日本でも　「ナプキンを変えない学生たちへ」、「生理の貧困と女性の尊厳」、「子どもとかかわる大人への性教育・吸水ショーツの普及」が紹介されています、男性にはほとんど知識がない話が載っています。
　14ページ。アンケート女性会員に聞きましたが５ページにわたって載っています。
最後に15%の方がハラスメントを受けたことがあると答えています。
　20ページ。「どうやってきまる？ロータリーのルール」が４ページにわたって載っています、「規定審議会」なるものがあるのですが、わかりやすく図表になっています。
　縦組み４ページの記念講演要旨です。助産師になって42年の内田さんによる「命を頂いてつないでいくこと」が掲載されています。内田さんのメインの仕事は助産師さんですが、思春期保健相談師として、実際に思春期の子供たちに出会い性教育なども行われています。詳しくは７ページ下段に記載されていますが、旦那さんは福岡県行橋市で産婦人科医院を開業されています。九州思春期研究会を設立し事務局長をつとめ、福岡県子育てアドバイザー、福岡県社会教育委員をされています。
　いきなり本文冒頭に「生の反対は？」とありますが、ここでは単純に「死」と答えることでなく「産まれないこと」と内田さんが体験した死産の赤子を抱くお母さんのエピソードから教わったそうです。泣かない赤子を抱いてもなお、母は母であり続ける姿から教わったそうです。
　９ページ。この人訪ねて　十日町ロータリクラブのカール・ベンクスさんが紹介されています。新潟県十日町は越後の信濃川流域一帯は「森の文化」と呼ばれる縄文文化の一大中心地だったそうで　その山間の村で古民家を再生させて「奇跡の集落」と呼ばれるようになったいきさつが載っています。2017年度総務省「ふるさとづくり大賞（内閣総理大臣賞）」を受賞されています。
　13ページ以降は、卓話の泉、俳壇・歌壇・柳壇、友愛の広場となります
　22ページ下段ROTARY AT WORKの中に子ども食堂へお菓子と洗濯機を寄贈の記事があります。

月間卓話

母子の健康月間

講師　増田隆二会員

　内部卓話の機会をいただきありがとうございます。４月は母子の健康月間ということですが、先にコロナ感染症のことについてお話しします。
　人吉市でのコロナワクチン接種率ですが、４月10日付で２回目まで終了者が90.2%、３回目が73.7%となっています。高齢者の方はほぼ終了されていますが、若い年代で接種率が伸び悩んでいます。5－11歳の接種率は20%弱の接種率となっています。今後４回目の接種に向けた準備が進められていますが、対象となるのは高齢者となるようです。医療従事者に関しては検討中です。
　さて、これまでにワクチン接種のために使われた国費はいくらかご存じでしょうか、２兆３千億円だそうです。ワクチン接種が進んでいますが、乳幼児の接種はできません、また小学生の接種率も極めて低く、この年齢層でのコロナ感染症の拡大は危惧されています。是非これらの年代と接触する可能性がある方々からの感染拡大を予防しなければなりません。今後の問題として、保健所による積極的疫学調査が縮小し、重症化予防に重点を置くようになりました。
　すなわち保健所による濃厚接触者の認定及び検査が高齢者施設などに限定され、事業所などでは独自に判断検査を行うことになっていきます。抗原検査とPCR検査とありますが、陰性を証明するためにはぜひPCR検査を行ってください。有症状の場合の陽性確認には抗原検査で可能ですが、抗原検査陰性でも感染は否定できません。幸いなことにこの地域では漆野会員のCISにてPCR検査可能でかつ結果報告も早いので有効です、ご活用ください。

　コロナ禍は子供たちの心と体と学力に大きな影響を落としました。内閣府の調査によれば平成３年３月で自殺の増加が報告されました。大人4.5%の増加に対して子どもでは25%増加（100人増の499人）、小学生14人、中学生146人、高校生339人となっています。また国立成育医療センターの調査では、うつ病も急増し小学生14%、中学生24%、高校生30%増加、神経性食欲不振症も外来で1.4倍、入院で1.6倍増加したそうです、これ以外に睡眠障害、視力低下、肥満なども増加しています。
　ストレス反応としてコロナで嫌な気持ちになる、集中できない、イライラするなどが小中高生の３割から４割に認められ、学年が上がるほど大人たちは話を聞いてくれないと回答しており、相談できる人がいないと答えた中高生も２割ぐらいいたそうです。一方、教職員のストレスも深刻で、やる気が出ない、前向きになれないといった回答が多かったそうです。こども環境学会による保育園での調査では、園児において人とのかかわりの遅れ、社会性の

遅れを感じる保育士が35－38％いて、言葉の遅れはあまり感じないが、運動能力の遅れは31％の保育士が思っていたそうです。その他、マスクによる表情がわからない弊害、保育者の疲弊、風評被害、地域との連携体制の必要性などの訴えがあったようです。一方都内の小児科医に対する調査では、こころのそうだんのぞうかとして、登校拒否、投稿誌ぶり、心身症、睡眠障害、ゲームやネットへの依存の相談が多かったようです。

　さて、本日の本題の母と子の健康月間にかかわるお話です、ロータリーの友４月号の縦組み記念講演要旨に特集されていますのでご一読ください。

寄付カード

ニコニコ箱･出席委員会

〈ニコニコ箱委員会〉

- **芦北ＲＣ和田貴嗣会長**　人吉ＲＣの皆様にお会いする事ができて喜ばしい限りです。宜しくお願いします。
- **芦北ＲＣ白坂長一（50周年実行委員長）様**　人吉クラブの皆様お世話になります。これからも芦北クラブ宜しくお願いいたします。
- **中島会員**　白坂実行委員長お久しぶりです。
- **中川会員**　芦北ＲＣ和田会長、白坂実行委員長ご来訪ありがとうございます。
- **竹長幹事**　増田先生、母子の健康月間の卓話ありがとうございます。
- **石蔵会長**　芦北ＲＣ和田会長、白坂実行委員長、ご来訪ありがとうございます。式典はありませんが確かに「50周年」を記憶しています。貴クラブの益々のご発展を祈念申し上げます。
- **愛甲会員**　結婚記念のお祝いを頂きありがとうございました。
- **北会員**　4/20初孫が誕生しました。長男です。名前は北翔太朗と命名しました。宜しくお願い致します。

点　鐘

石蔵 尚之 会長